

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード	030401050	予算コード	01021300	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A	
事務事業名	障害者共同生活援助等事業			正規職員数 0.25	国庫支出金 80,912	有効性	B	単身生活が困難な障害のある人にとって、日常生活及び相談のできる場としてグループホーム等は非常に重要である。平成27年度末から28年度にかけて新規事業所立ち上げが相次ぎ、増加していく見込みである。		
担当課	障害福祉総務課			嘱託職員数 0	府支出金 40,455	効率性				C
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 0	市債 0	効率性	C			
	■法律・政令・省令 ■条例・規則			歳出(千円)	その他 0	妥当性				B
	障害者の日常生活及び社会生活を支援するための法律(障害者総合支援法)、泉佐野市知的障害者福祉法施行細則			人件費総額 2,056	一般財源 42,514	妥当性	B			
					減価償却費 0	受益者負担	B			
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	163,881	緊急性	A			事務事業実施内容
実施手法	市直営			市民1人当りコスト(円)	1,629					支給決定者数89人
対象				活動指標	H29実績	公的関与	A			
特定の市民	対象数	107人		グループホーム支給決定者数	107.0					
18歳以上の身体障害者、知的障害者、精神障害者						実施主体・委託化	A			
事業の内容						他の事務事業との関連	A			
障害者総合支援法に基づき、地域のグループホーム等で生活する障害者に対し、食事の提供や相談及び日常生活の援助を行い、障害者の自立生活を支援する。				成果指標	H29実績	透明性	B			
				グループホーム利用者数	85.0	財政健全化計画	該当なし			
						財政健全化の取組	該当なし			
				コスト指標	H29実績	改革改善プラン達成度	該当なし			
事業の目的				入居者1人当りの経費	1,928,011.0					
グループホーム等利用者に対し、食事等の生活援助や日常生活における相談援助等を行うことで、地域での自立した生活を支援する。										